

## 鍼灸科

## リハビリテーション医学 1

対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	宇南山伸			実務経験	有	職種	鍼灸師				

## 授業概要

リハビリテーションの目的は「人間らしく生きるために権利の復権」と言える。そのためリハビリテーションのカテゴリーを医学的、教育的、職業的、社会的な分野に分けている。本授業では、特に「医学的リハビリテーション」を扱い、前期は医学の理念とともにリハビリテーションの概念、その方法を中心に学ぶ。

## 到達目標

現在では広い意味でのリハビリテーションに関わることが多くなってきているため、鍼灸師として必要なリハビリテーションの基礎知識、具体的な方法について学ぶ。単に疾病に対する治療法だけではなく、障害から社会復帰までの流れに必要な知識や技術の習得を目標とする。

## 授業方法

講義形式で行う。医学的、教育的、職業的、社会的な分野に分け、その中で特に医学的リハビリテーションを中心に扱いながら、リハビリテーション全体の関連性を学ぶ。鍼灸の現場で役立つ知識の習得を中心とし授業を進める。

## 成績評価方法

期末試験（筆記試験）。

## 履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

## 教科書教材

学校協会指定教科書医歯薬出版リハビリテーション医学

回数	授業計画
第1回	リハビリテーションの理念
第2回	障害の捉え方、リハビリテーションの分野、地域リハビリテーション
第3回	リハビリテーション医療の概念

第 4 回	障害の評価 1. 機能・形態障害の評価（国際生活機能による分類）
第 5 回	障害の評価 2. 活動および活動制限、参加および参加の制約の評価
第 6 回	障害の評価 3. 合併症（廃用症候群）の評価、運動麻痺の評価
第 7 回	障害の評価 4. 運動年齢テスト、失行失認テスト、心理評価
第 8 回	医学的リハビリテーション 1. 理学療法（運動療法）
第 9 回	医学的リハビリテーション 2. 理学療法（物理療法）
第 10 回	医学的リハビリテーション 3. 作業療法、言語聴覚療法
第 11 回	医学的リハビリテーション 4. 言語聴覚療法
第 12 回	医学的リハビリテーション 5. 装具療法と義肢
第 13 回	医学的リハビリテーション 6. リハビリテーション看護、ソーシャルワーク
第 14 回	脳卒中のリハビリテーション（1）
第 15 回	脳卒中のリハビリテーション（2）